



Materials Innovation



可能にする、化学を。

JSR株式会社

インターンシップ報告会
2017年3月8日

本日のトピックス

1. JSRの会社概要 紹介
2. 化工系エンジニアの仕事 紹介
3. JSRのインターンシップ 紹介



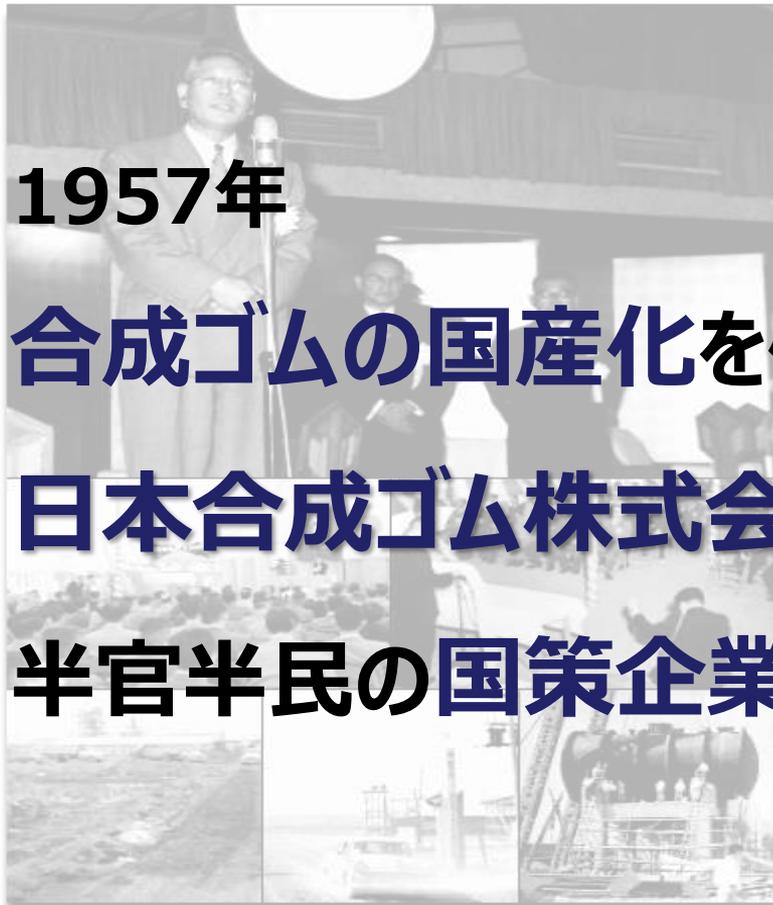
JSRオリジナルキャラクター
分子くん

1957年

合成ゴムの国産化を使命として

日本合成ゴム株式会社(現：JSR株式会社)は

半官半民の国策企業として誕生した



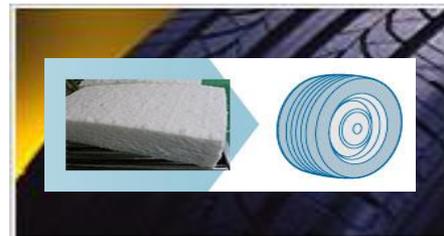
Materials Innovation

JSR

With chemistry, we can.

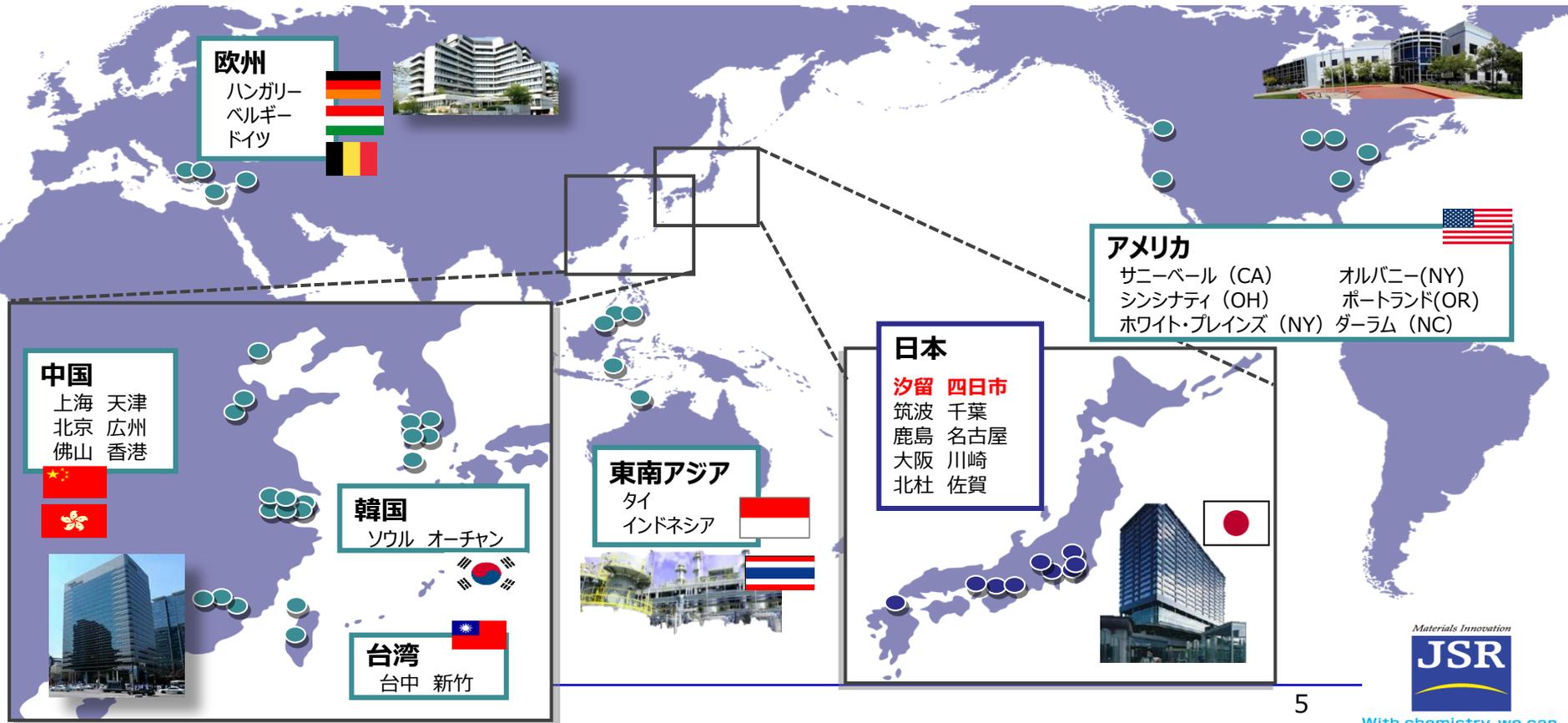
JSRの会社概要

- 設立年月日 -1957年12月10日
- 資本金 -23,320百万円
- 企業理念 -Materials Innovation
マテリアルを通じて人間社会(人・社会・環境)に貢献します。
- 売上高/営業利益 (連結)
-386,709百万円 / 33,633百万円 (2015年度実績)
- 連結従業員数 -6,587名 (2016年3月31日現在)
- 事業所
-汐留東京本社、四日市工場・研究所
筑波研究所、千葉工場、鹿島工場、名古屋ランチ
-その他海外9ヶ国31拠点
- 製品 - ①石油化学系事業 ②ファイン事業 ③戦略事業



JSRのグローバル展開

9カ国、31拠点において、グローバルに事業展開を行っています



化工系エンジニアの 仕事



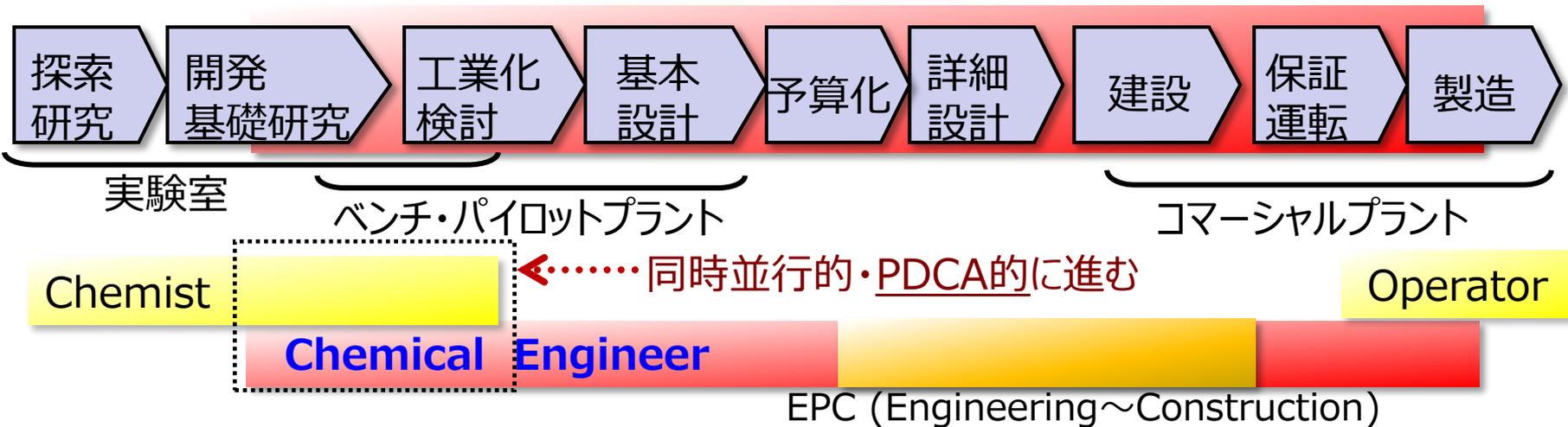
化学製品を製造するためは・・・

- ① 研究開発→合成技術の開発
- ② 生産技術開発→プロセス開発
- ③ パイロット検討
- ④ プラント建設
- ⑤ 製造プラント運営
- ⑥ 品質管理
- ⑦ 安全・環境技術

→**化工系出身者の活躍の場は、限られるのでは？**

化工系社員の担当業務・職務の範囲

開発から製造までの基本フロー



→製品化に係る大半の業務を担う！



Materials Innovation



With chemistry, we can.

化工系 出身者の活躍の場は？

- ・製造プロセスの設計？
 - 化工計算の世界（反応、蒸留、熱交換etc）
 - エンジニアリング会社のイメージ
- ・プロセス開発から製造まで エンジニアリング会社へ委託？

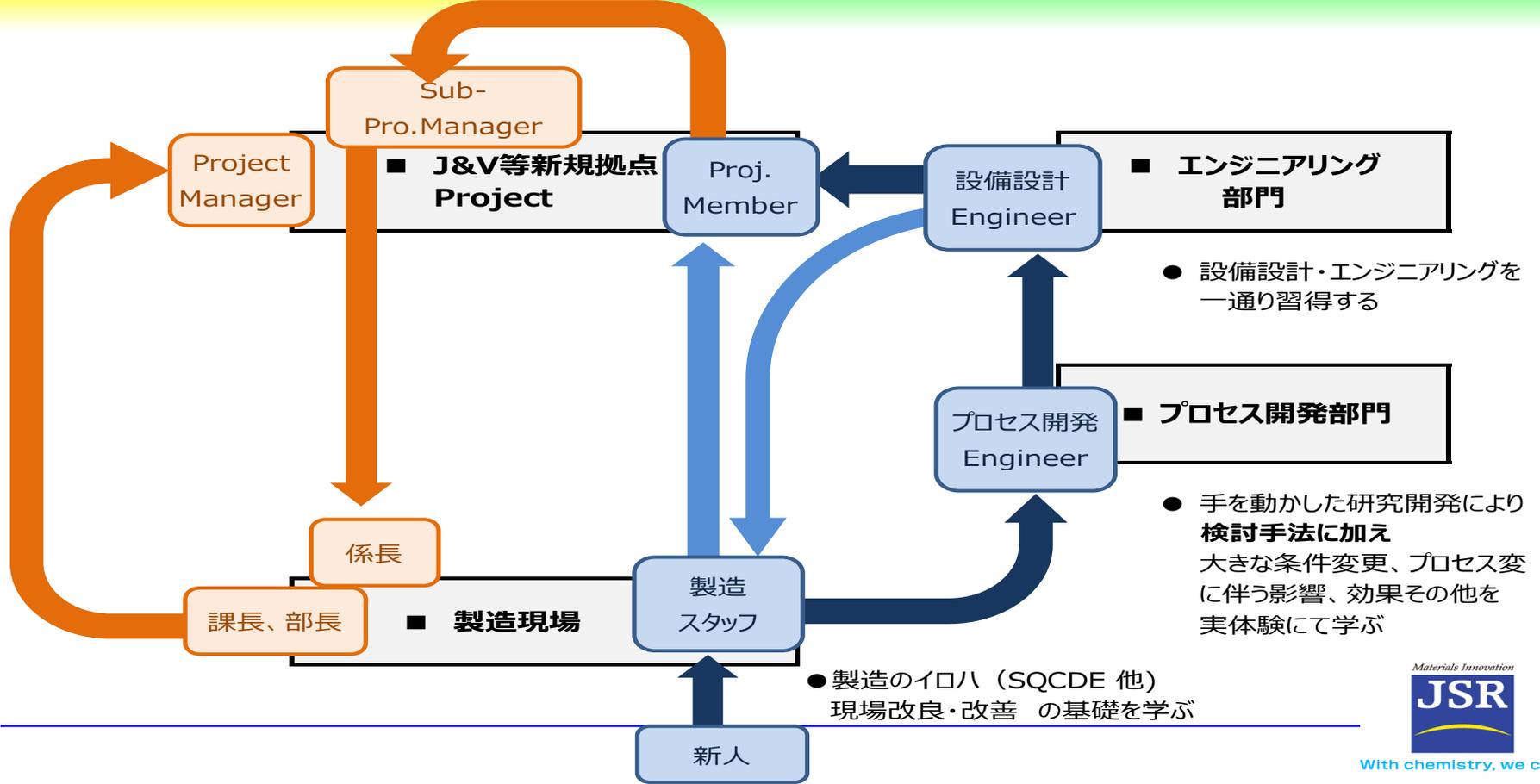
★JSRの考え方

合成技術開発の段階から製造、安全、環境技術開発を一貫して行う。

開発段階から製造まで化工系技術者の活躍の場がある！

化工系社員の担当業務・職務の範囲

業務を通して、自然に育成（開発・エンジニアリング・マネジメント等）



キャリア形成への意識を高め、社員のスキル・組織力の向上を目指しています。

◆ Career Development Program制度

入社後の10年間を能力確立期と位置づけ、事務系・技術系問わず、およそ2回配置転換し3部署を経験する制度で、30年近く運用しています。

- ・**技術系**：事業分野を大きく跨ぐ異動もあり
(石油化学系事業のR&D→ファイン系事業の製造技術など)

入社3・6・9年目に、自己申告をする
CDP面談があります。
※毎年上司とキャリアに関する面談あり。

◆ 狙い

- (1) 多様な業務・経験を通して、基本能力を高め、社員本人の**考え方・知識・視野を広げる**。
- (2) 異なる上司による**多面的な評価**により、本人の**強みや適性**を確認する。
- (3) 将来**マネジメント**する立場になったときに、**多面的な視点**から意思決定が可能な人材へと成長する。
- (4) 人材の交流により固有の技術を他部署と共有し、更に**組織力・技術力を向上**させる。

JSRのインターンシップ

- 開始年度 - 2007年～毎年実施中
- 化工系学生の受入数 - 累計16名
- 選考 - 書類選考、個人の技術面接
- 実習期間 - 8月～9月の内、2週間
(実稼働10日間)
- 実習場所 - JSR株式会社 四日市工場
- 実習テーマ(例) -
 - ① S-SBRプラント溶媒精製プロセスの最適条件の検討
 - ② 熱交換器導入による排熱の有効利用について
 - ③ JSR四日市工場動力課における排熱の回収

2016年に実施したインターンシップ

- 学生 - 化工系専攻 修士1年
- 実習テーマ - **S-SBRプラント溶剤精製系の最適化**
- 実習内容 - プロセスシミュレーターや様々な化学工学の計算を用い、現在のプラントにおける問題(溶剤精製)の解決。



2016年に実施したインターンシップ^o

● 習得内容 ー

- ① 学習中の化工系知識が、**どのように企業に活かせるか**
- ② **コスト感、納期、安全等、企業で重要なこと**

● 感想 ー

- ① 教科書にあるような基礎的な内容の重要性を痛感
- ② 得られた多数のデータや結果を、
いかにわかりやすくまとめて人に伝えるかという、新たな視点



ご清聴頂きありがとうございました。

